

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330241040	教育経営論（教育社会学を含む） Theory of Educational Administration	小倉 弘之			2	必修	4前期

科目の概要

こども生活学科の目標である「よき教育者の育成」とDP③を受け、小中学校の管理職の実務経験を活かし、現代の学校教育に関する経営的事項について基礎的な知識を獲得したうえで、それらを活用し関連する課題を明確にし探究し、対応策を考える力を身に付ける。さらに、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。尚、次に学ぶ幼少連携、教職実践演習の基盤となる科目である。

学修内容	到達目標
① 学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の視点から理解する ② 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解する ③ ①と②で獲得した知識を活用し、学校経営の一役を担う立場として、どのように考え実践していけばよいかを論ずる	① 学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の視点から理解することができる ② 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解することができる ③ ①と②で獲得した知識を活用し、学校経営の一役を担う立場として、どのように考え実践していけばよいかを論ずることができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	教職を目指し、生徒指導を進めるうえで必要なことについて、図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	教職に就くという目標や、出題された課題に向かって、くじけずやり切ることができる。
考え抜く力	課題発見力	教職を目指し生徒指導を進めるうえでの課題について、客観的に整理し、見極めることができる。
	計画力	
	創造力	教職を目指し、生徒指導を進めるにあたり、よりよい在り方を様々な角度から考え、対策案を作成することができる。
チームで働く力	発信力	教職を目指し、生徒指導を進めるにあたり、子どもに分かりやすく伝えるために必要な「留意点を的確な文章で伝えたり、パワーポイントで発表したりすること」ができる。
	傾聴力	教職を目指し生徒指導を進めるうえでも必要な「他（子どもも含む）の意見を受け止めつつ自分の意見を言うこと」ができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	教職を目指すにあたり必要な「子どもに最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：随時紹介する
 参考文献：「新版 学校を改革する」佐藤学 岩波ブックレット
 オープンエデュケーション：（文部科学省）「地域と学校の連携協働の推進」<https://youtu.be/10bBegkoVSQ>

他科目との関連、資格との関連

教育経営論は、教育の基礎的理解の科目の一部であり、教育実習指導・教育実習の基盤となる科目である。
 ・教育に関するすべての科目と関連する。
 ・幼稚園教諭免許、小学校教諭免許

学修上の助言	受講生とのルール
・絶対に教職に就くという強い意志をもち続け、学修したことを学校現場で絶対に生かすという決意で学びをしてほしい。	① 授業開始から20分以降の遅刻は欠席とする。 ② 授業に参加していないと判断される場合は欠席扱いとする。 ③ 教員が許可した場合以外の授業中のスマホ使用は禁止とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
	レポート	平常評価	90	①	✓	知識の獲得（学校経営の視点からの教師、カリキュラム、危機管理、組織のあり方、今後の教育改革）：30% 知識の活用（知識を活用しての考察・協議）：20% 課題の解決（毎回の授業のふり返し、まとめのレポート(3回)）：50%
				②	✓	
③				✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①			
			②			
			③			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）・ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 （実行力）・慣れない経営案作成であっても積極的に取り組むことができる。 （課題発見力）・立案した対策の課題を発見し、修正することができる。 （創造力）・よりよい対策するために、様々な面から経営案を検討することができる。 （発信力）・子どもを想定し、経営案を提案発表で分かりやすく説明することができる。 （傾聴力）・質疑応答では、提案発表を聞き取ったうえで、自分の意見を述べるができる。 （規律性）・教職を目指すにあたり、子どもにルールを守らせる前に、自分自身に厳しくルールを課すことができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
本授業に意欲的に取り組み、授業での課題でも習得した知識を活用して考察ができている（A）。 その中でも優れた視点で考察ができている場合を（S）とする。	授業にまじめに参加し、グループワークなどでも他者と協調して取り組み、課題を期限内に提出している（C）。 その中で提出課題に一定以上の成果が認められる（B）。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業概要/授業の ルール/評価方法を理 解する。 ・学校とはどんな場 であるかについて考察 する。	講義・演習	・学校の様々な定義や 条件等について整理 し、ワークシートに記 述できる。	(予習)学泉ノートを 読んでくる。 (復習)ワークシ ートの内容を復習しポ イントをまとめておく。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
2	学校教育の質を決定づ ける諸要因について考 察する。	講義・演習 グループディスカッ ション	・学校教育の質を決定 づける諸要因について 整理し、ワークシート に記述できる。	(予習)提示資料を熟 読する。 (復習)学校教育の質 を決定づける諸要因に ついてワークシートに まとめ考察する(提 出:Google Classroom)。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	教授・学習活動と学校 経営の関係	講義・演習 グループディスカッ ション	・学校経営における教 授・学習活動の位置づ けと意義について整理 しワークシートに記述 できる。	(予習)提示資料を熟 読する。 (復習)教授・学習活 動の位置づけや意義に ついてワークシートに まとめ考察する(提 出:Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学校の人的条件「教 える」ことの専門性	講義・演習 グループディスカッ ション	・「教える」ことの専 門性について考察し ワークシートに記述で きる。	(予習)提示資料を熟 読する。 (復習)「教える」こ との専門性について ワークシートにまとめ 考察する(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	学校の物的条件(1)教 室という場と教材・学 習材	講義・演習 グループディスカッ ション	・学校における教育活 動を展開していく中で 教室や教材・学習材を どう考えればよいかま とめ記述できる。	(予習)提示資料を熟 読する (復習)学校における 教育活動を展開してい く中で教室や教材・学 習材をどう考えればよ いかまとめ考察する (提出)。	180	主体性 実行力 課題 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	学校の物的条件(2)カ リキュラムとは何か	講義・演習 グループディスカッ ション	・学校経営におけるカ リキュラムの重要性に ついて記述できる。	(予習)提示資料を熟 読する。 (復習)学校教育にお けるカリキュラムの意 義とあり方について考 察する(提出:Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学校を変えていくプロ セスの実際(A小学校 の事例)	講義・演習 グループディスカッ ション	・A小学校の学校経営 について考察し記述で きる。	(予習)提示資料を熟 読する。 (復習)A小学校の学 校経営から自らが学ん だことについてレポー トにまとめる(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	学校を変えていくプロ セスの実際(B小学校 の事例)	講義・演習 グループディスカッ ション	B小学校の事例から自 らが学んだことについ て記述できる。	(予習)提示資料を熟 読する。 (復習)B小学校の事 例から自らが学んだこ とについてレポートに まとめる(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学校安全・危機管理と学校経営	講義・演習 グループディスカッション	・教育活動を展開していく中での安全上の留意点についてまとめ記述することができる。	(予習) 提示された事例について考えをまとめる。 (復習) 学校安全・危機管理の重要性について考察し記述する(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	学校病理の噴出と教育改革	講義・演習 グループディスカッション	・学校が抱える諸問題やそれらへの対処法などを記述できる。	(予習) 提示された事例について考えをまとめる。 (復習) 学校が抱える諸問題や諸改革について考察し記述する(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「チーム学校」論と学校経営(含: コミュニティスクール)	講義・演習 グループディスカッション	・地域の中の学校としての様々な取組について理解し、まとめることができる。	(予習) 学社連携・融合の事例を図書館で選び、一つ持参する。オープンエデュケーション: (文部科学省)「地域と学校の連携協働の推進」 https://youtu.be/10bBegkoVSQ を視聴してくる (復習) チーム学校やコミュニティスクールについて自らの考えをまとめ記述する(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	日本の教育改革: 教育振興計画とウェルビーイング	講義・演習 グループディスカッション	・今後、教育が進むべき方向性について本時の学修から考え記述できる。	(予習) 提示資料を熟読する。 (復習) 本時の学修内容を踏まえ、今後の進むべき教育の在り方について考えまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	日本の教育改革: OECDラーニングコンパスとウェルビーイング	講義・演習 グループディスカッション	・今後、教育が進むべき方向性について本時の学修から考え記述できる。	(予習) 提示資料を熟読する。 (復習) 前時及び本時の学修内容を踏まえ、今後の進むべき教育の在り方について考察しレポートにまとめる(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	子どもが「幸せ」となる学校をつくる: スクールプラン作成	演習 発表	今後の時代の変化も踏まえ、あるべき学校像をスクールプランとして作成できる。	(予習) 提示されたフォームに自らの考えをまとめる。 (復習) 発表内容を振り返る。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	本科目の学修のまとめ: スクールプラン発表	演習、協議	・本科目の学修内容を振り返り、PPにまとめ発表することができる。	(予習) 自ら作成したスクールプランの発表準備を行う。 (復習) これまでに学修してきたことを復習し考えをまとめる(提出: Google Classroom)。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力